

令和5年度

田無第一中学校 2年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

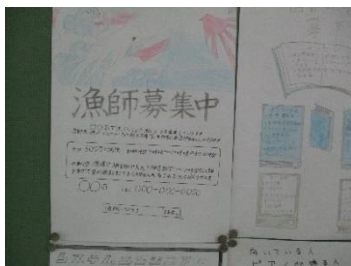
西東京ふるさと探究学習

単元名：住んでいる街(西東京市)を知る。理解を深める。関わる。
(活動名)

- ねらい：
- ①地域の職場を通し、事前の調べ学習や当日の体験をすることで、地域の社会構図への理解を深める。また、働くことを通して地域の中にいる自分を考えるきっかけにする。(知識、技能、学ぶ姿勢)
 - ②地域に貢献できることに積極的に取り組み自ら情報を発信できる力をつける。(思考、判断、表現、)
 - ③地域の施設の取組を理解し、自分たちの住んでいる街の理解を深める(知識)

【5月1日～】

9月に行われる地域での職場体験に向けて、仕事とは何か？地域にはどんな仕事があるか？などを掘り下げて働くことの意味、大切さを知るところから学習を始めました。クラスで様々な職業を分担して調べ、様々な仕事情報を学級・学年で共有しました。



【5月25日～】

様々な職業について考え、情報として共有した後、実際に「自分たちの地域にどんな職業があるのか？」と理解を深めた上で、実際に自分が体験したい職業の希望調査をして体験先を決定していきました。

そして、決定した体験先について体験前に調べ学習を通して知識を深めました。



【6月下旬～7/13日】

6月下旬から7月にかけて自分たちの出身小学校でもある小学校の後輩へ、一中の魅力を伝え、中学校へ安心して進学してきてもらうために、学級で協力をして小学生がわかりやすいようなプレゼンテーション資料を工夫して作りました。

そして、当日は地域の3つの小学校の全クラスに代表表班が1班ずつその目的を果たすために訪問し、それぞれが代表の自覚をもってプレゼンテーションをすることができました。



【9月19日】

いよいよ3日後に迫った職場体験学習に備えて社会に出て働く上でのマナーを学び、職場体験への心構えを強めました。



【9月22日】

ご協力をいただいた様々な地域の施設や企業(職場)で、いろいろな職種を通して一人一人が貴重な体験をさせていただきました。



【11月9日】

田無特別支援学校とも地域の学校同士として交流をし、互いの学校について理解を深めました。



「ボッチャ」という競技を田無特別支援学校から教えていただき実際に競技を通して交流しました。

【6月9日&11月15日】

6月9日と11月15日には市内の図書館の方を講師に招き「まちなか先生」としてクラスごとに授業をしていただきました。市内の図書館などが行っている取組を教えていただくことで、普通に生活していると知らずに終わってしまうことを知ることができ、改めて市内の活動の幅広さを実感することができました。



コラム

- ・秋の職場体験に向けて働くことの意味を考えながら地域における様々な仕事を知ることができました。今年度は1日の体験しかできなかったものの、地域の職場に勤めている方々の協力を得て、働くことを理解するとともに、地域のコミュニティを知ることができ、感想には働くことの大変さと地域で働いてくれている方への感謝の意識がありました。
- ・地域の学校との交流を通し、小学校には地域の先輩としての自覚、支援学校との交流では様々な環境下にある多様性を知り、地域を通して社会に対する視野を広げることができました。
- ・西東京市で行っている「まちなか先生」の活動を通し、それまで知らなかった市の取組を知るとともに、職場体験前のマナーに関する授業を自らの職場体験学習につなげることをしていました。

まとめ

今年度の「(西東京市を)知る。理解を深める。関わる」というテーマのもと様々な地域の現状を知るとともに理解を深めることができた。また、活動を通して今年度一中の研究テーマである「デジタル・シティズンシップ教育」も活かしながら、適正なデジタル機器の活用能力や表現力も高まったのではないかと思います。

来年度に行われる修学旅行では、日本の歴史が詰まった古都の街の学習を行う。その学習を活かし、自分たちの住んでいる街や地域(西東京市や東京都)を未来にどう残していくのがよいのかを考えて、将来的な行動に結び付けていける力を育成していきたい。